

2002年 6月30日 主日礼拝 (洗礼式)

司 会 ①沼田兄 ②上田兄 ③岡野保兄

奏 楽

賛 美 聖歌467

使徒信条

主の祈り

賛 美 聖歌229(海と空造られた主)

祈 禱 ①高木師 ②久保田兄 ③川田兄

聖 書 マタイによる福音書9章18～26節

音 楽 ① 井沢豊師

②③宮川由起子姉&竹下和枝姉

メッセージ『勝利に対する焼けつく渴き』

大川従道牧師

賛 美 明日はどんな日か(献金)

祝 禱

「お着物にさわる」ことでもできれば、
きつと直る」と心のうちで考えていた。
(マタイ九の二十一)



私はたったいま召されても、「はい」といって、夫のもとに駆けつける用意はあるのですが、パリに行った二十歳のときも、九十二歳の今も、今日を生きていく姿勢にはあまり変わりがないように思います。でも私がこうして生きていけるのは感謝しても感謝しきれないほどたくさんの方々のお力添えのおかげと思っています。(「老いてなお、こころ愉しく美しく」まえがきより)

シャロームコーポレーション(宮川喬)の企画で、水野源三さんの詩の朗読とその詩の賛美の公演会のために、長岡輝子さん、胡美芳さん、藤井多恵子さん、榎本保郎師と盛岡まで旅をしたのは、今から20数年前のこと。当時、長岡さんは70歳代、榎本師も40代、私大川は30代。盛岡に着くまで、長岡先生の隣りの席に座らせていただいて、いろいろと教えていただいた。今でもそのとき「若い牧師さん、こういうことに注意して語ってくださいよ」と言われたことを憶えている。聖書の理解が暖かい愛で包まれているように思えた。

その水野源三さん宛に書かれた手紙が、本の中で紹介されていました。

源三さん

お見舞に行つて おしるこをごちそうになり 私は本当にしあわせ
源三さんと瞳と瞳で お話が出来た私は 本当のしあわせ者
あの時から あなたの詩を読む心の姿勢が 変わりましたよ
孤独や痛みや絶望が のさばっていないあなたの詩
どんな貴重な宝石も 放射するあなたの輝きには歯がたちません
そのはずね ご褒美ですもの 天からの

2000年6月吉日 長岡輝子

【大和ニュース】

- ・本日は、長岡輝子先生をお迎えてきて心から感謝です。94才になられますが、増々主が用いて下さるように、主の守りと祝福をお祈りください。
- ・今年も半年間守られたことを感謝し「上半期感謝献金」を捧げましょう。この献金は、伝道牧会スタッフと献身者の家族の為に用いられます。袋は受付にあります。
- ・受洗おめでとう。①青木兄(ヨシア会)②百瀬姉(高1)
- ・本日、子聖、手話、青年会、ゴスペル、学生ワーシップ(森2F・1時45分)、役員会(2時)あり。
- ・聖書基礎講座は火曜朝10:30より。講師は武井先生。泉チャペル地下にて。無料。
- ・ハンナゆり会は、火曜朝10:45より。シャローム館にて。
- ・今週の祈禱会も、すばらしい恵みの聖会です。共に賛美し、祈り、学びましょう。
- ・深夜祈禱会は、金曜夜9時より。講師はベニー・ヒン師(VTR)。
- ・今週もむさぼるように聖書を読みましょう。
- ・土曜礼拝は8時～9時、説教は倉知師。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:使徒行伝9章～13章 Bコース:ヨブ記19章～34章